
自己評価体制

1 自己評価を行うための組織

平成4年12月22日に開催した教授会で岐阜大学医学部自己評価に関する規定を制定し、岐阜大学医学部自己評価実施委員会を設置した。

委員会の組織は、学部長（研究科長）、病院長、評議員、基礎系の教授（研究科担当）2人、臨床系の教授（研究科担当）2人、助教授・講師会会長、助手会幹事長、事務部長の合計11人の委員で構成されている。なお、その下部組織として作業部会を設置した。

医学部自己評価実施委員会は、全学自己評価委員会で策定された評価項目にほぼ準拠して項目を設定した。すなわち、1)教育研究の理念・目標等、2)教育活動、3)研究活動、4)大学院医学研究科、5)教員組織、6)施設・設備、7)国際交流、8)社会との連携、9)管理運営、財政、10)診療活動などである。

なお、平成6年2月「岐阜大学医学部・附属病院の現状と課題（第1号）」と題する自己点検・評価の報告書を刊行し、以後隔年で同報告書を刊行することとしている。

2 自己評価の公表とフィードバック

自己点検・評価の学内、学部内への活用

学内にあっては各学部、附属図書館等及び学部内にあっては各講座、各附属研究施設、附属病院の中央診療施設、附属図書館医学部分館等に配布している。

また、カリキュラム及び研究の活性化に評価を活用している。

大学外への自己点検・評価結果の公表

医学部・附属病院の現状を把握し、評価を受ける目的で全国国立医科大学・医学部にも配布している。

また、学外者の意見は、岐阜県内の団体等に所属する有識者で組織されている「岐阜大学医学部グランド・デザイン懇話会」及び36病院で構成されている「岐阜大学医学部附属病院関連病院長会議」において聴取している。

報告書はインターネットで公表しており、サイトは、「第2号」は <http://www.med.gifu-u.ac.jp/z1996/z1996.htm>、「第3号」は <http://www.med.gifu-u.ac.jp/z1998/z1998.htm> であり、「第4号」は <http://www.med.gifu-u.ac.jp/z2000/z2000.htm> の予定である。